

ボーナス 本当に「出るだけいい」か？ 早出・居残り・小集団・サービス残業 当然 年休が取れない

組合員のみなさん！ユニオン・国労組合員のみなさん！
そして 内勤など日勤のみなさん！

冬のボーナスは2.9箇月（12月10日以降準備でき次第）と回答されましたが、東海労は再申し入れ・交渉継続中です。最大の理由は、夏よりも、今年の冬よりも低い2.9箇月はリニア資金確保のためと、社員への負担強要による賃金抑制であり、とうてい認められないということです。

ところで、この2.9箇月に対して「出るだけいい」という感想があります。皆さんはどう受け止めていますか。

新聞などによると、日本航空は「ボーナス全額カット」を組合に提案したそうです。そして、企業年金減額も検討されています。かつ、ボーナスカットとあわせて「社長ら役員約70人の12月分の報酬をカットする」ことも明らかにしています。これでは確かに「出るだけいい」か、と思えてきそうです。が、本当にそうでしょうか？

ところで日本航空は、松本所長が所内誌7月号で「2つのJの分かつもの」と紹介した「J」の1つで、J R 東海を明としJ A Lを暗としています。「暗」のJ A Lがボーナス無しで、「明」のJ R 東海が2.9箇月です。さぞかし所長は鼻高々でしょう。民営化は成功した。社員思いの良い会社だ。悲願のリニアも順調に進んでいる、と。

しかし職場はどうでしょう？ 年休が入らない。準備時間不足で早目出勤。居残りや休日の小集団活動。予備月はWや一丁半行路、コブ付き変行路が当たり前の超過勤務。また、内勤など日勤の皆さんはサービス残業のようです。こう 思いませんか？

身体が持たない・家族や友達との時間もとれない・会社と東海ユニオンが「出るだけまし」と言わせている と